

モンゴル国特命全権大使 ソドブジャムツ・フレルバートル閣下 あいさつ要旨

平成25年5月21日(火)

於：都市センターホテル

佐久市出身の皆さんおはようございます。

まず、柳田市長さんの再選、心よりお祝い申し上げます。

さて、モンゴルと日本の関係は、丁度、外交関係を樹立してから、今年で41年を迎えております。この40年間で日本とモンゴルの関係は、地理的に近くて遠い国から、戦略的パートナーシップの関係に生まれ変わりました。

佐久市とも友好交流をはじめから、先程のご紹介にあったとおり、今年で5周年を迎えているところであります。人の交流、特に子どもの交流を中心に、また、文化交流をおこなってきました。

今から僅か1ヶ月前の今年の3月末に、日本の安倍首相がモンゴルを訪問しました。その訪問で日本とモンゴルの関係がもっと近くなりました。

日本とモンゴルの関係は、北東アジア、そして東アジアの国々との関係のなかで見本になるべく、良い関係になっておりますことを、大変誇りに思っています。

これからモンゴルと日本の関係は、戦略的パートナーシップの関係を、もっと活力のある協力関係で進めていくこととなりますけれど、この戦略的パートナーシップというのは、まずお互いをよく知り合った、また信頼し合った、政治、外交、防衛関係の地域的な協力関係でございます。

また、戦略的パートナーシップの最も重要な柱は、経済交流です。互惠的かつお互い補完しあった経済交流、それがこれからスタートします。

佐久市とモンゴルとの関係は、文化、人的交流よりも、これからは何とかビジネス関係でつないでいて欲しいと願っておりますし、皆様とともにその方向で頑張っていきたいと思っております。

3本目の戦略的パートナーシップの柱は、幅広い文化、教育、スポーツ、芸術、それから市民と市民の関係、地方と地方の関係であります。

国際舞台で両国がお互いを支持し合う関係が最も重要であります。

このような日本とモンゴルの関係ですけれども、そのなかで佐久市とモンゴルの関係はこれからもっと広がっていくことと思っております。

今年の秋頃に佐久市でモンゴルの写真展、書道展、また漫画展をやろうという話が出ていますし、また来年5月の佐久市でのバルーン大会、それに向けてモンゴルのゲル(テント)を持ってきては如何かという話も出ています。

最後になりますけれども、日本とモンゴルの関係の発展、佐久市とモンゴルの交流の発展、それから何より佐久市の皆さんの発展と、1人1人の健康とご多幸をお祈りしたいと思います。

ご清聴ありがとうございます。